

“絆”きずな

【2019年度開催予定】訪問リハビリテーション管理者養成研修会

「管理者として管理技能を高め、職場や地域における対応能力の高い訪問セラピストを養成する」ことを目的とした訪問リハビリテーションのスペシャリストを育成するための3協会合同の唯一の人材育成プログラムです。これからの地域リハビリテーションに従事するために必要な項目が網羅されており、コミュニケーション技法から、管理運営までトータルに学べ、講師陣も各業界トップの方々をお迎えしています。訪問・通所系に従事している方、これから従事する予定の方、現在管理職を務めている方、これから管理職を目指す方など、多くの方の受講をお待ちしています。

【STEP1】

日 時：2019年7月13日(土)～15日(月祝) ※受付開始：5月13日(月)

場 所：武藤記念ホール(大阪市中央区大手前2-1-2)

※STEP1大阪会場より今年度の管理者養成研修会が開始となります。詳しくは訪問リハビリテーション振興財団ホームページをご参照ください。

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介④③ 宮崎県編

宮崎県は神話の故郷という一面と、ハワイを彷彿させる南国の雰囲気がある素晴らしい県です。

県の人口は(2018年時点)約110万人で、現在でも高齢化は進んでいます。2040年には人口は80万人くらいになると言われています。また、地域特性として広い土地に少ない人口が点在しています。

県民性はのんびりとしていますので、高齢化、人口減少に危機感を抱いているのは地域包括ケアに携わる方々くらいかもしれません。

これからの宮崎県の高齢者、若者を取り巻く生活の課題を視覚化し、県、市、住民、地域包括ケアに関わる方々が力を合わせ、一人一人が意識してその課題に対応できるようにお手伝いできればと考えております。

宮崎県訪問リハ・地域リーダー 理学療法士 小山田 登洋
潤和会記念病院 訪問リハビリテーション事業所

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介④④ 鹿児島県編

鹿児島といえば、屋久島や桜島、黒豚を思い浮かべると思いますが、鹿児島県は離島が多く、鹿児島県全体の面積の約27%を占めています。そこで生活している人たちは約18万人で、離島の面積と人口は日本一です。その中の十島(としま)村は、北にある口之島から、もっとも南にある宝島までの距離が約130キロメートルあり、長さ日本一の村です。

このような土地の影響があるとも思いませんが、鹿児島県ではいち早く一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会を立ち上げ、3協会が協力し、鹿児島県訪問リハビリテーション研究会としての活動を円滑に遂行しています。これも、各会長の人望によるところが大きいと思います。

鹿児島県のご当地自慢は、3協会長のもと力を合わせて活動していることです。

鹿児島県訪問リハ・地域リーダー 理学療法士 弥栄 博文
医療法人七徳会ザ王病院